

立川農業のブランド化の取り組みについて

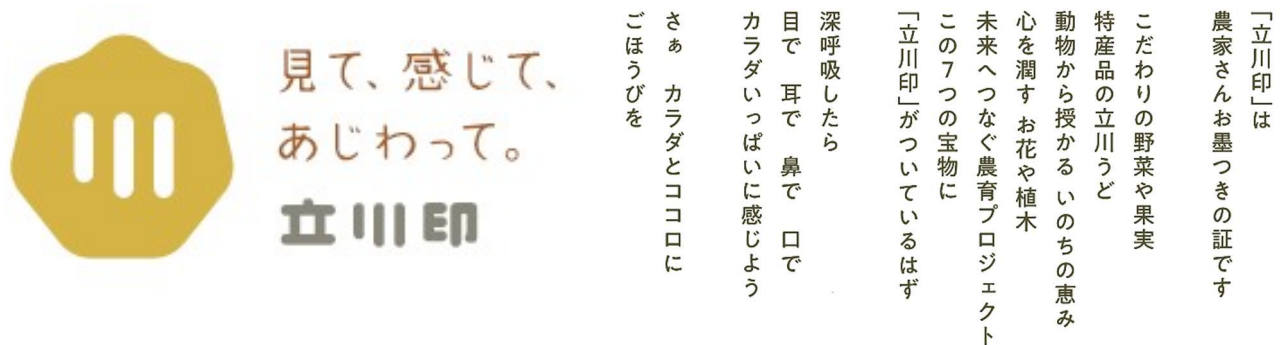
1. 立川産農産物ブランド化事業の概要

東京都の新たな補助制度である「地場産農産物消費拡大支援事業補助金」を活用し、「立川市第5次農業振興計画」の施策に掲げる「ブランド力の強化」を目指す取り組みを令和3年4月より着手。市内農業者の横断的組織である立川農業振興会議を実施主体とし、会議から推薦された10名の農業者が中心となって、計9回、延べ約30時間に渡るワークショップ形式の検討を重ね、ブランドマーク、ブランドメッセージを決定。

2. ブランド化の目的

第5次農業振興計画に掲げる「立川産農産物のブランド化の推進」や「生産者と市民との交流の場」を持つことを通じて、立川産農産物の価値や魅力の理解が広まり、立川産を好んで選ぶ消費者が増えるとともに、立川産農産物を取り扱う飲食店への集客につながる等、農業者の経営力強化や地域経済の活性化に寄与することを目指す。

3. ブランドマーク、ブランドメッセージ



4. 年度内のスケジュールと次年度以降の取り組み

令和4年2月9日(水)：定例記者会見後に、立川農業振興会議として、市長同席のもとプレス発表を実施。メディアを通じて一般向けにお披露目

翌2月10日(木)以降：
・みの一れ立川やの一かるに出荷される立川産農産物に、ブランドマークのシールを貼って販売。併せて、市役所やみの一れ立川等の施設においてポスターやのぼり旗の掲出、チラシの配布等を通じて取り組みの周知を図る
・これまでの検討過程等を紹介する動画をSNS上で配信する等、様々な形で広く市内外へと発信する
・2月25日号の広報たちかわ、中面見開きで「立川印」の特集記事を掲載

次年度以降：立川産農産物を取り扱う市内飲食店との連携した取り組みや、スーパー等の地元産コーナーにおけるブランドマークの周知、発信力のある民間事業者と連携したマルシェの開催等、立川農業を応援してくれるファンの獲得やその結びつきを大切にした取り組みを展開していく